

快適な市民生活実現のために

5年度 新規事業の紹介

大館市では自然と調和し、うるおいのある快適な市民生活を実現するため、たくさんの方の事業を計画しています。今回はその中から平成5年度に実施される新規事業を、いくつか紹介します。

健康づくりと医療の充実のために

▽地域医療

市立総合病院では年次計画で医療機器整備を進めていますが、5年度新規事業として「M・R・I」（磁気共鳴画像診断装置）を導入します。「M・R・I」は現在最も進んだ画像診断装置のひとつとして普及しており、生体組織の化学的変化・機能の変化を映像に写し出すもので、病気の診断に威力を発揮します。

心のかよいあう福祉の増進のために

▽高齢者福祉

ねたきり老人及び痴呆性老人を介護している家族などに対し「在宅介護手当」を支給して、介護する人の精神的・肉体的な負担を軽減するとともに、老人福祉の向上を図ります。

介護手当の支給対象は、

▽児童、母子父子福祉

老朽化が進んでいた下川沿保育所を、単人団地入口へ移転改築します。（木造平屋建約七百平方メートル）
乳児保育園を泉町へ移転改築し、狭あい問題を解決します。



老朽化がいちじるしい下川沿保育所

▽ごみの分別収集

市では平成5年度をごみ対

農林業の振興のために

▽農業生産基盤整備

ふるさと農道整備事業として二井田地区（六百メートル）と上四羽出地区（八百メートル）に幅員五メートルのアスファルト舗装道路をつくりまします。

▽農村生活環境整備

真中地区農業集落排水事業として管路工事などを実施し、集落環境整備を図ります。

▽林業生産基盤整備

停滞している林業生産活動を活発化するため、山葵沢（わさびざわ）線開設事業として、幅員四メートル（延長千六百五十メートル）の林道を開設します。

▽森林資源の活用と保全

秋田杉材の需要拡大のため、住宅を建築する時、一定量以上の秋田杉材の柱を使用した家屋に「大館市木材需要拡大・定住促進事業補助

策元年と位置付け、指定ごみ袋による分別収集をスタートさせました。新たに資源ごみとして、新聞紙、雑誌、アルミ缶などを収集しリサイクルに回します。

市長リポート



No.43

環境整備保全に向けて

大館市では、生活雑排水による水質汚染を解消するため、下水道整備事業や合併処理浄化槽の普及事業を進めています。

合併処理浄化槽は、し尿と生活排水を一緒に処理するもので、農業用水路などに汚れた生活排水を流さないようにするものです。生活雑排水による水質汚染や悪臭を解消する有効な手段になると考えています。

また、市で行っている「合併浄化槽設置費補助金」制度は大変好評を得ています。下水道整備区域外で、住宅の建て替えやリフォームの機会には、この制度を大いに活用していただきたいと思います。

この度、私が「秋田県合併処理浄化槽普及促進協議会」の会長をお引き受けしたこともあって、なお一層環境保全整備を推進していきたいと考えています。祖先から受け継いできたかけがえない自然を守り、より良い環境を残すために全力を尽くしたいと思っています。

小畑 元